

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。（各10点）

- 1 2万5千分の1の地形図で4cmの長さは、実際には何kmですか。

答え

- 2 5万分の1の地形図で2cmの長さは、実際には何kmですか。

答え

- 3 2万5千分の1の地形図で、主曲線（細い等高線）は何mごとに引かれていますか。

答え

- 4 5万分の1の地形図で、主曲線は何mごとに引かれていますか。

答え

- 5 等高線の間かくがせまいところは、かたむきがどうなっていますか。

答え

- 6 地図記号「卍」は何を表しますか。

答え

- 7 地図記号「干」は何を表しますか。

答え

- 8 地図記号「文」は何を表しますか。

答え

- 9 方位記号がない地形図では、地図の上はどの方位ですか。

答え

- 10 実際の1kmは、2万5千分の1の地形図では何cmですか。

答え

1 答え：1km

$$4 \times 25000 = 100000\text{cm} = 1\text{km}。$$

2 答え：1km

$$2 \times 50000 = 100000\text{cm} = 1\text{km}。$$

3 答え：10m

4 答え：20m

5 答え：急である

6 答え：寺

7 答え：郵便局

8 答え：小・中学校

9 答え：北

10 答え：4cm

$$100000 \div 25000 = 4\text{cm}。$$

要点まとめ

- ・ 2万5千分の1では「4cmで1km」、5万分の1では「2cmで1km」。この2つを覚えると、計算が速くなります。
- ・ 等高線の間かくが「せまいほど急」「広いほどゆるやか」。
- ・ 自然災害伝承碑は、2019年に新しくできた地図記号です。防災の問題で出ることがあります。

解法ポイント

- ・ 実際のきょり＝地図上の長さ×縮尺の分母。
- ・ cmをkmに直すときは、100000でわる。
- ・ 等高線の間かくがせまいほど急。